



様式第5号（第5条関係）

令和5年6月9日

益田市議会議長
河野 利文 様

議員 中 島 賢 治

益田市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、下記のとおり提出します。

令和5年度政務活動費収支報告書

1 収 入
政務活動費 60,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	69,271	
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	69,271	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出報告（調査研究費）

視 察 先	羽村市・清瀬市・福生市視察												
調 査 日	2023 年 4 月 12 日 ～ 2023 年 4 月 14 日 (視察日：令和 5 年 4 月 12/13/14 日)												
視察内容	羽村市（英語教育の推進） 清瀬市（内部統制の取り組み・子育てクーポン事業） 福生市（不登校総合対策）												
経 費	<table><tr><td>交通費</td><td>65,400 円</td><td>宿泊費</td><td>円</td></tr><tr><td></td><td>3,871 円</td><td></td><td>円</td></tr><tr><td></td><td>円</td><td>合計</td><td>69,271 円</td></tr></table>	交通費	65,400 円	宿泊費	円		3,871 円		円		円	合計	69,271 円
交通費	65,400 円	宿泊費	円										
	3,871 円		円										
	円	合計	69,271 円										
所 感	この度の視察は、会派最後となる視察であります。今年 8 月改選となり議員上期最後の視察となります。 会派新生会では、東京到着後午後 3 時から羽村市における、英語教育の推進についての視察をおこないました。 羽村市は、人口約 56,500 人、面積 9.9km² で人口の密集した市であります。多摩川より取り入れた生活用水を供給する玉川上水の起点となる市でもあります。 キャッチフレーズは「コンパクトで暮らしやすいまち 羽村市」 平成 14 年度から市立栄小学校において、英語を特別活動として取り組み、平成 19 年度から全小学校 7 校にて、小学 1 年生から英語教育を開始。 英語コーディネーター（3 名）を配置し、ALT を羽村市で直接雇用で配置している点が特徴です。 英語教育の目的は「国際社会に生きる日本人としての自覚とコミュニケーション能力の基礎を養う」ことである。 小中一貫校での英語科教員が小学校へ出向き授業を補助し、小学校の実態を知り、英語科の入門期の授業改善を図られ、中学校での授業改善に生かされている。 また、もう 1 名外国語活動アドバイザーを配置して、英語コーディネーターの研修・育成、指導案の作成助言、授業展開・学習評価に関する支援、学級担任への助言やクラスルームイングリッシュ運用等の助言などの役割を担っている。この人の存在が重要な役割を担っているようであった。 ALT の配置は、市と隣接する横田基地在住の方を直接雇用し、羽村市の目指す												

英語教育を理解してもらうために、採用時と年1回研修会を実施している。
直接雇用のメリットは、派遣社員でないので活動内容を直接指示したり、指導法を指導できる。

デメリットは、長期雇用ができない。3年で日本を離れることがあることと、文化の違いがあるので、学校ルールを事前にしっかり説明しないと学校内でのトラブルの原因になることもあるようです。

羽村市が作成している英語教育の公開ビデオを見れば、子供たちが英語と外国人への恐怖心が無くなるようになることもうなずける。

やはり、幼少期からの英語教育は必修のように感じた視察であった。

2日目は10時から清瀬市における「内部統制の取り組みと子育てクーポン事業」についての視察を行った。

人口約75,000人、面積は約10Km² 議員定数20人の清瀬市です。

初めに、初めに清瀬市内部統制基本方針の説明を受けた。

内部統制体制の整備・運用に関する基本方針は次のとおりである。

1. 業務の効率的かつ効果的な遂行
2. 財務報告等の信頼性の確保
3. 業務に関わる法令等の遵守
4. 資産の保全

以上4つの目標の達成に向け、整備及び運用を実施している。

現状の取り組みとして、初年度「訓令及び規則に規定する申込書等の様式等見直し」を内部統制の一環として推進している。

これにより、押印廃止に向け調査を行い、525種類の書類の中、63%（353種類）の押印廃止が可能になったとのことであった。

すでに押印を求めている手続き書類も11%（58種類）あったようだ。

内部統制推進委員会を開催し、様式の見直しを実施、内部統制報告書策定、監査委員への審査依頼をおこない、令和5年度8月以降に議会への報告予定となっている工程であった。

そのなかで、「内部統制リスク評価シート」における、「影響度・大・中・小」「発生可能性・高・中・低」の各三段階に区分されて、「対策内容欄」などが一覧になって見やすく整理された評価シートとなっている。

ポイントとして、各部局での「リスク評価・リスク対応策整備」を行い報告書の審査を「監査委員」がおこない、意見が付された報告書は「議会に提出・公表」する流れになっている点である。

益田市の流れを見ておく必要があるようだ。

「子育てクーポン事業」については、平成17年から平成26年に子育て家庭への経済的支援として「子育てクーポン券・支援カード」について検討し、平成27年度から実施となった事業である。

交付対象は0歳～5歳児（就学まで）で所得制限なし。対象児童1名につき年度内6,000円分（500円券12枚つづり）のクーポン券と商品券4,000円分を交付している。但し、年度内利用のみ且、転出・児童死亡などの場合は使用不可となり、複製・譲渡・貸与することはできない。不正使用の場合利用料金返還となる。クーポン券利用可能サービスは、育児支援ヘルパー・ひとり親家庭ホームヘルパーサービス・認可保育園一時保育・病児保育室・ママタクシー・産後ケア・子育てネットワーク支援など数多くの支援サービスに利用できるクーポン券である。商品券は地元商店での利用可能であり、利用率では、クーポン券約50%、商品券約93%と圧倒的に商品券の利用率が高い結果であった。

やはり、日々の子育て生活支援施策が必要と感じられる視察であった。

午後3時から福生市へ「不登校総合対策について」の視察をおこなった。

福生市は人口約56,000人、面積約10Km²、議員定数19人・都内から40kmの市であります。

全国初の「東京版不登校特例校」と位置づけ設置を促進した福生市である。平成28年12月成立の「教育機会確保法」により地方公共団体は不登校特例校の整備が努力義務となった。

福生市も平成28年頃から小中学校ともに不登校人数が増え平成30年では小学校30人程度、中学校80人弱と不登校者の出現率が多くなり、不登校長期化への対応が必要となった経緯があり、「福生市立福生第一中学校分教室7組」の設置となった。

対象生徒は現在、1年～3年合わせて14名、正規教員14名を配置している。学校教育目標はグローバル社会に向けて「自立・共生・貢献」掲げ、学びのスタイルを自分でデザインし、個人に応じた学習レベル・学習量・学習ペースで学ぶことができるシステムのようなのだ。

授業の総時間数は通常の8割程度で不足分を「福生版プロジェクト学習」と「個別学習」の時間で補完している。

成果として、有名進学高校への合格もあったようで、非常に喜んでいたので印象的であった。

いずれにしても、子供たちに平等な教育が受けられる居場所の提供はとても良いことであり、努力義務である「不登校特例校の整備」は必要であり、益田市に限らず、近隣市町村における不登校人数の実態調査を把握し、必要ならば整備を検討する必要があると感じた視察であった。

視察にあたり「清瀬市・福生市・羽村市」の行政担当者の皆様には本当にお世話になりました。また議長の皆様には議員選挙の始まる前の視察にも関わらず対応頂き誠にありがとうございました。

心より御礼申し上げます。

羽村市・清瀬市・福生市・大正大学視察旅費内訳

項目及び使途	政務活動費の 支出額	支払先及び 支払年月日	活動年月日及び場所	摘要
調査研究費	292 円	京浜急行	令和 5 年 4 月 12 日 羽田空港～品川駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	824 円	JR 東海	令和 5 年 4 月 12 日 品川駅～羽村駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	167 円	JR 東海	令和 5 年 4 月 12 日 羽村駅～拝島駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	356 円	西部鉄道	令和 5 年 4 月 12 日 拝島駅～東久留米駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	157 円	西部鉄道	令和 5 年 4 月 13 日 東久留米駅～清瀬駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	314 円	西部鉄道	令和 5 年 4 月 13 日 清瀬駅～拝島駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	146 円	JR 東海	令和 5 年 4 月 13 日 拝島駅～福生駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	736 円	JR 東海	令和 5 年 4 月 13 日 牛浜駅～池袋駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	146 円	JR 東海	令和 5 年 4 月 14 日 池袋駅～巣鴨駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	178 円	都営地下鉄	令和 5 年 4 月 14 日 巣鴨駅～西巣鴨駅	IC カード使用の ため領収書なし
調査研究費	555 円	京浜急行	令和 5 年 4 月 14 日 巣鴨駅～羽田空港	IC カード使用の ため領収書なし

合計支出 3,871 円

上記のとおり相違ないことを証明します。

提出者

議員名

半島賢治

注) 1 按分又は経費分割により支出を行った場合は、「摘要欄」に全体額及び按分率又は経費分割内訳額を記載すること。

2 領収書等を取得することが困難である理由を「摘要欄」に簡潔に記載すること。

カードID=010109102D16E80B

利用年月日	鉄道会社名	入場駅/事業者名	鉄道会社名	出場駅/降車場所	利用額(円)	残額(円)	メモ
2023/4/12	京急	羽田空港第1・第2ターミナル	京急	品川	292	7,471	
2023/4/12	JR東	品川	JR東	羽村	824	6,647	
2023/4/12	JR東	羽村	JR東	拝島	167	6,480	
2023/4/12	西武	拝島	西武	東久留米	356	6,124	
2023/4/13	西武	東久留米	西武	清瀬	157	5,967	
2023/4/13	西武	清瀬	西武	拝島	314	5,653	
2023/4/13	JR東	拝島	JR東	福生	146	5,507	
2023/4/13	JR東	牛浜	JR東	池袋	736	4,771	
2023/4/14	JR東	池袋	JR東	巣鴨	146	4,625	
2023/4/14	都営	巣鴨	都営	西巣鴨	178	4,447	
2023/4/14	都営	巣鴨	京急	羽田空港第1・第2ターミナル	555	3,892	

領 収 証		№ 013717
中島 賢治 様		令和 5 年 5 月 17 日
領収金額	¥ 百万 千 円 65400	
但し 上記金額正に領収致しました		
 全国観光公社 島根県知事登録2-9号 全旅協保証社員 株式会社 全国観光公社 〒698-0023 島根県益田市常盤町5番29号 TEL (0856) 22-1144 FAX (0856) 22-1141 E-mail: info@zenkannet.jp 取扱者 		